

# 2006年度 情報検索応用能力試験

## 1級 試験問題(前半)

### 注意事項

1. 着席したら、受験票を机の上に置いて下さい。
2. 解答用紙の所定の欄に受験番号・氏名を必ずご記入下さい。  
また、「選択した専門分野番号」欄に、選択した専門分野を以下から選び、その番号を必ずご記入下さい。  
1. ビジネス 2. 特許 3. 化学 4. ライフサイエンス 5. 総合  
記入のない場合は、採点対象となりませんのでご注意下さい。
3. 解答時間は、13:15～14:45の90分間です。
4. 中途退席できる時間は、14:00～14:30の30分間です。  
一旦退席すると、前半の試験終了まで再入場はできません。
5. 問題は共通問題2問、専門問題各2問、全11ページ、解答用紙は13ページです。確認の上、落丁・乱丁・印刷不鮮明のもの等がありましたら、手をあげて試験官にお知らせ下さい。
6. 解答は、問題文の指示にしたがい、解答用紙にご記入下さい。  
(解答用紙裏面への記入は無効です。)
7. 問題の内容に関する質問は一切できません。
8. 試験問題は持ち帰って結構です。

## 1 級前半 共通問題

問1 ブログについて、以下の設問(1)～(3)に答えなさい。

(1) ブログの特徴について、従前からの技術によるホームページ作成方法と比較して、なじみやすい点や便利な点などを、以下の4つの用語を用いて説明しなさい。

HTML

時系列整理

トラックバック(TrackBack)

RSS

(2) トラックバックの利用に関して想定されるマイナス面について述べなさい。

(3) ブログを利用して情報発信する際に気をつけなければならない点について述べなさい。

問2 以下の英文はインターネット検索エンジン、Scirus の機能について書かれている文章の抜粋である。これを読んで、次の設問(1)～(3)に答えなさい。

(1) Scirusの情報源を5つあげなさい。

(2) Scirusが科学分野に特化した情報を収集している方法について述べなさい。

(3) 一般の検索エンジンのロボットとScirus で使用しているロボットの違いについて述べなさい。

## 1. Introduction

Scirus is the most comprehensive science-specific Web search engine available on the Internet. Driven by the latest search engine technology, it enables researchers and students searching for scientific information on the Web to chart and pinpoint the information they need quickly and easily.

Scirus is powered by search technology provided by Fast Search & Transfer™ (FAST™). FAST search technology is currently deployed by a wide range of global customers and partners including AT&T, CareerBuilder, Dell, Freeserve, IBM and Reuters.

Speciality search engines – also called vertical or topical Web search engines – focus on specific subject areas. Elsevier has worked in partnership with FAST to create unique processes that ensure that Scirus is the most comprehensive science-specific index on the market today. Locating scientific information on the Web is fast and efficient with Scirus because it:

- Focuses only on websites containing scientific content and indexes those sites in-depth.
- Searches the world-wide-web for free sources of information such as scientist home pages and university websites.
- Searches the world's largest database of scientific, technical and medical journals.
- Locates pre-print, peer-reviewed articles and patents.
- Provides an intuitive interface and advanced search features that makes it easy to use.
- Provides unique science-specific Web search functionalities, such as searching on author, within specific sources or subject areas.

## 2. Pinpointing Results: The Inverted Pyramid

An efficient search engine is able to pinpoint results quickly and efficiently. An inverted pyramid best depicts the process Scirus uses to pinpoint results. At each phase in the process the data is increasingly refined. As a result, the Scirus Index is a database of relevant, science-specific information.



## 3. Seed List Creation and Maintenance

The seed list is the basis on which Scirus crawls the Internet. The Scirus seed list is created by a number of methods including:

- An automatic URL extractor tool identifies new scientific seeds based on a link analysis of the most popular sites in specific subject areas.
- Elsevier publishing units are periodically asked to supply a list of sites in their subject area.
- Members of the Scirus Scientific, Library and Technical Advisory Boards provide input on an ongoing basis.
- Webmasters and Scirus users regularly submit suggestions for new sites.

Because the seed list only contains URLs that have been manually checked for scientific content Scirus is able to crawl the Internet in an efficient, focused way ensuring deeper and fuller coverage of scientific web sites.

## 4. Focused Crawling

Scirus uses a robot – also known as spiders or crawlers – to “read” the text on the sites found on the seed list.

Unlike general search engines, the Scirus robot doesn’t follow links unless those domains are also on the seed list. This type of focused crawling ensures that only scientific content is indexed. For instance, if Scirus crawls [www.newscientist.com](http://www.newscientist.com) it will only read pages that fall under that domain. It doesn’t crawl a link to [www.google.com](http://www.google.com) because that URL isn’t on the seed list.



ここからは専門問題です。

次の5分野から1つを選択し、解答してください。

- 1．ビジネス 2．特許 3．化学 4．ライフサイエンス 5．総合



## 1 級前半 専門問題：1 . ビジネス

問3 経営企画部門の担当者からビジネス誌 Fortune の世界企業ランキングトップ 10 に入っている大企業の経営戦略について調べてほしいとの依頼があった。検索の手順について、以下の設問(1)～(2)に答えなさい。

(1) プレサーチインタビューの段階で考慮すべき点を 5 つあげない。

(2) 検索に使用するツールを 3 つあげ、各々の使用方法について具体的に説明しなさい。

問4 ある商品(またはサービス)について、事業性を検討するための基礎データや参考情報を集めて欲しいという依頼に対してどのように対応するか、特定の商品またはサービスの具体例をあげて述べなさい。

なお、特定の商品またはサービスの具体例は自由に設定してよい(ex. 携帯電話、プロポリス、家庭教師派遣、etc)。単品または単一サービスのかわりに、包括的な分野名をあげてもよい(ex. 家電、介護用品、etc)。

ただし、解答には以下のポイントを含めること。

必要と思われる基礎データの項目

基礎データの存在を知る方法と入手方法

既存市場調査資料の探し方と入手方法



## 1 級前半 専門問題：2 . 特許

問3 特許情報検索システム（または、データベース）の多くは、一つの発明が複数の国に出願されたものを検索するための対応特許検索機能（パテントファミリー検索機能とも呼ばれる）を備えている。この対応特許およびその集まり全体であるパテントファミリーについて、以下の設問（1）～（2）に答えなさい。

- （1）対応特許およびパテントファミリーとは何かを、優先権主張と関連づけて説明しなさい。
- （2）前問（1）に基づいて、対応特許、パテントファミリーの作成方法（収集方法）を3種類あげてその概要を説明し、それらの方法によって作成されたパテントファミリーデータを提供するデータベース名（および必要ならば検索システム名）を示しなさい。

問4 今年1月から国際特許分類第8版の運用が始まった。  
一方、米国、欧州、日本はいずれも国際特許分類を採用しつつ、それぞれ独自の分類を設けて併用している。これについて、以下の設問（1）～（2）に答えなさい。

- （1）国際特許分類第8版で検索する場合の注意点について、具体的なシステム名、データベース名をあげて説明しなさい。
- （2）各国・機関が独自に特許分類付与・運用している事について、良い点および問題点を、それぞれ2つ以上あげて説明しなさい。

## 1 級前半 専門問題：3 . 化学

問3 ある化合物の物質特許を探すため、Registry ファイル、CA ファイルを使って検索した。CAS 登録番号と化合物名称を用いて検索したが、該当すると思われる特許は見つからなかった。以下の設問(1)～(2)に答えなさい。

(1) この場合、物質特許が存在するのか、しないのか、それぞれ考えられる理由を2つ以上あげて説明しなさい。

物質特許は存在する場合、この調査法では見つけれない理由

物質特許は存在しない場合、存在しないと考えられる理由

(2) 化合物の物質特許を調査する場合、CA で十分な結果が得られなかったときに、次に使用するデータベースを2つあげ、その理由を述べなさい。

問4 エンドユーザー向けに開発された SciFinder と、STN (ここでいう STN とは、STN 搭載の Chemical Abstracts Searvice 提供のデータベースを指す) について、以下の設問(1)～(3)に答えなさい。

(1) SciFinder にのみ備わっている機能を3つあげ、それぞれについて説明しなさい。

(2) STN にのみ備わっている機能を3つあげ、それぞれについて説明しなさい。

(3) 検索担当者が STN で行うべきと思われる調査にはどのようなものがあるか。具体例をあげて説明しなさい。

## 1 級前半 専門問題：4 . ライフサイエンス

問3 製薬会社の企画部門より、肺癌を適応症として開発中の、現在 Phase の治験薬のリストがほしい、との相談を受けた。以下の設問(1)～(2)に答えなさい。

(1) リストの作成に最適と思われる治験薬データベースを3つあげなさい。また、そのデータベースを選んだ理由を、それぞれ比較しながら説明しなさい。

(2) 作成したリストをエンドユーザーが利用する上での注意点について、エンドユーザーにも理解できるように説明しなさい。

問4 ある医科大学の授業で4年生100人を対象に2コマ計180分の文献検索の演習を行うことになった。カリキュラム責任者からは、演習の目的として「Evidence-Based Medicine の実践における文献検索能力の修得」を求められている。この演習の前の週では臨床疑問の定式化の演習を行い、次の週では検索した情報の批判的吟味を行う予定である。ほとんどの学生はこれまで文献データベースを使ったことがない。あなたが演習担当者であるとして、以下の設問(1)～(3)に答えなさい。

(1) 演習の構成について、項目をあげ、それぞれの簡単な内容と割当時間を書きなさい。

(2) 演習の前に確認及び準備すべき点について重要と思われるものを3つあげなさい。

(3) 学生の理解度を測るために宿題を出すとしたら、どのようなものにするか。評価方法と併せて答えなさい。

## 1 級前半 専門問題：5 . 総合

問3 ナノテクノロジー分野で有名な Thomas W. Ebbesen 氏のプロフィールと主要文献について調べてほしいとの依頼があった。その調査方法を述べなさい。

ただし、解答には以下のポイントを含めること。  
プレサッチインタビューの段階で確認する事項  
使用したツール  
そのツールを選択した理由  
具体的な調査方法と調査上の留意点

問4 日本経済新聞東京最終版掲載の記事を探す方法を3種類以上あげて、それぞれの特徴を述べなさい。

ただし、解答には以下のポイントを含めること。  
収録範囲  
特徴もしくは他の方法にない利点または欠点  
検索もしくは利用する上での留意点